

# LST NEWS

No.17

APRIL 2009

## 第17号（平成21年4月）

### 新入生に贈る言葉

#### — 開拓の精神 トリプルP(情熱、忍耐、個性)—

研究科長 小柴正則

情報科学研究科に入学された皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。本研究科の教職員を代表しまして、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。このたび、修士課程には、留学生6名を含む196名、博士後期課程には、留学生11名と社会人の方6名を含む40名、合わせて236名の方々を迎えることができました。

皆さんが入学された、この情報科学研究科がどんなところか、簡単に紹介させていただきます。情報科学研究科は、2004年の4月に創設された新しい研究科で、この4月で6年目を迎えました。本研究科は、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークにつながるユビキタスネット社会実現のための情報と通信に関する技術、いわゆるICTの国際競争力の強化、さらには、安心・安全なユビキタスネット社会実現のための学問的基盤であります「情報科学技術」分野において、世界水準の教育研究拠点としての役割を果たすことを目的としています。学生定員は修士課程1学年177名、博士後期課程1学年42名で、「複合情報学専攻」、「コンピュータサイエンス専攻」、「情報エレクトロニクス専攻」、「生命人間情報科学専攻」、「メディアネットワーク専攻」、「システム情報科学専攻」の6専攻が設置されています。

こうした専攻名からもわかりますように、情報科学研究科は、「ソフトウェア」から「ハードウェア」まで、また、「デバイス」から「システム」まで、社会が必要としている情報科学技術のあらゆる分野、言い換えますと、「情報通信」や「電気電子」の分野、さらには「ナノテク」や「バイオ」まで含めて、すべてを包含した形で組織されています。このため、スピード感をもって社会のニーズに応じていくことはもちろんですが、10年先、20年先を見据えて未来志向の夢のある教育研究を自在に展開することができるようになっていきます。

このように、情報科学研究科は、情報科学技術を通じて、これからの「知識基盤社会」の進展に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。さらに、「国際的に魅力ある大学院づくり」にも積極的に取り組んでいます。その一環として、「世界最高水準の卓越した教育研究拠点形成と大学院教育の抜本的強化」を目的とした文部科学省所管のステータスの高い二つのプログラムを推進しています。一つは、「グローバルCOEプログラム(平成19年度～23年度)」であり、いま一つは、「大学院教育改革支援プログラム(平成19年度～21年度)」です。本研究科は、グローバルCOEプログラムの前身である「21世紀COEプログラム(平成14年度～18年度)」に、「情報・電気・電子」の分野で全国20拠点の一つとして採択されまして、事後評価では最高の「A評価」を受けました。その後、拠点数を13に絞り込んだグローバルCOEプログラムにも採択されましたが、本研究科は、東京大学の工学系研究科とともに重点配分拠点として評価されています。一方、大学院教育改革支援プログラムは、本年度から、「組織的な大学院教育改革推進プログラム」と名称が変わりますが、このプログラムには、「人社系」、「理工農系」、「医療系」の三分野がありまして、北大で採択されたプログラムは、現在、人社系では文学研究科と法学研究科の2件、理工農系では情報科学研究科と理学研究院の2件、合わせて4件になっています。



研究科長挨拶

情報科学研究科では、グローバルCOEプログラムと組織的な大学院教育改革推進プログラム、これら二つのプログラムを車の両輪として、未来の情報科学技術の創出と深化を目指しています。先生方の不断の努力で、いわば立派な入れ物が用意されているわけですが、そこに魂を入れるのは、他でもない、皆さん方です。情報科学研究科に入学された皆さんには、こうした先進的な教育研究環境のもとで、思う存分学び、そして、研究の醍醐味を味わっていただきたいと思います。

修士課程に入学された皆さんには、いよいよ本格的な研究が始まります。無から有を創り出す研究という行為には、少なくとも三つのP、トリプルPが必要であると考えています。一つ目は研究に情熱を持ち続けること（Passion、情熱）、二つ目は忍耐強く研究を継続すること（Patience、忍耐）、そして三つ目は自分ならではの個性的な研究を展開すること（Personality、個性）、これら三つです。是非、学ぶことに努力を惜しまず、高い倫理観と夢を持って、新しい道を切り開いていく精神力を身に付けてください。また、博士後期課程に入学された皆さんには、こうした力は既に備わっているでしょうから、無から有を創り出す創造力になお一層磨きをかけてください。博士後期課程に在学し、限られた期間で、無から有を創り出すことの難しさを実体験することによって新しい課題に立ち向かう自信ができ、オリジナリティを尊重できるようにもなる、これが課程博士としての成果であろうと思います。日本は科学技術立国です。オリジナルな科学技術に畏敬の念を持てるクリエイティブな人材がこれからますます必要で、課程博士に求められる資質は、まさにここにあると思います。

この自然豊かな北海道大学のキャンパスで、自分自身の夢の実現に向けて、一日一日を大切にしながら自己研鑽に励んでください。これからの新しい学生生活が、すべての新入生の皆さんにとって、充実した実り多いものとなることを願っています。このたびの北海道大学大学院情報科学研究科へのご入学、改めて心からお祝い申し上げます。

(本記事は、4月2日に挙行された情報科学研究科入学式での研究科長挨拶に基づくものです。)

## 第5回産業技術フォーラム

3月2日(月)から6日(金)の5日間に渡り、情報科学研究科において、産業技術フォーラムが開催されました。今回のフォーラムには様々な業種の全83社が参加し、各社の特色や最新の技術・研究開発などが紹介されました。講演会はもとより、講演後に各社毎に設定された交

流会にも多くの学生が参加し、企業の方々との質疑応答等、活発な情報交換が行われました。

## GCOEプログラム国際シンポジウム

1月20日(火)から21日(水)の2日間に渡り、学術交流会館において、グローバルCOEプログラム「知の創出を支える次世代IT基盤拠点」(拠点リーダー:有村博紀)の主催による国際シンポジウム「GCOE-NGIT2009(知の創出を支える次世代IT)」が開催されました。

シンポジウムは小柴研究科長の開会挨拶で幕を開け、メディア、バイオ、ナノ、情報の各分野における第一線の研究者による基調講演4件、拠点メンバーらによる異分野共同研究の計画・経過報告など21件の講演に加え、国内外の研究者を招いた細胞計測に関わる4件の特別講演が行われました。さらに、本研究科の博士後期課程に在籍する大学院生とPDの73件のポスターセッションが行われ、活発な討論が交わされました。

本シンポジウムは、企業及び学外からの参加者も含め、両日ともに昨年度を上回る100名以上の参加者を迎えて、活気あふれる国際シンポジウムとなりました。

(情報科学研究科GCOE、伊藤真純)

## 平成20年度 魅力ある大学教育フォーラム・パネル展

標記パネル展は3月23日(月)に学術交流会館小講堂で開催されました。3件の口頭報告に加え7件のポスター展示があり、本研究科からは、組織的な大学院教育改革推進プログラム(旧称:大学院教育改革プログラム、平成19年度採択3年間)「多元的な資質伸長を促す学びの場の創成」に関して口頭報告を行った他、産学連携による実践型人材育成事業—長期インターンシップ・プログラムの開発—(平成17年度採択5年間)「実システム開発指向高度人材育成プログラム」のポスター展示を行いました。

口頭報告では、小柴研究科長が技術者育成に関する期待、工藤教授が本研究科の取組内容を述べ、修士2年の川口雄揮君が感想を話しました。

どの取組においても「学生の自主性」「実体験」「教員FD」が強調され、新しい取組みの効果と問題点が報告されました。また、プログラム終了後の継続についての質問があり、競争的資金の継続的獲得がもっとも重要であるとの回答が寄せられました。

## 平成21年度情報科学研究科専攻長・各種委員会等一覧

### ●専攻長・副専攻長

専攻等	専攻長 (任期：1年)	副専攻長 (任期：1年)
複合情報学専攻	鈴木 恵 二	古川 正 志
コンピュータサイエンス専攻	工藤 峰 一	トーマス ツォイクマン
情報エレクトロニクス専攻	高橋 庸 夫	本 久 順 一
生命人間情報科学専攻	遠藤 俊 徳	平 田 拓
メディアネットワーク専攻	長谷山 美 紀	野 島 俊 雄
システム情報科学専攻	北 裕 幸	金 井 理

### ●運営会議等

専攻等	運営会議 (任期なし)	専攻長会議 (職指定)	コース長会議 (職指定)
研 究 科 長 ( 副 工 学 部 長 )	小 柴 正 則	小 柴 正 則	小 柴 正 則
副 研 究 科 長	栗 原 正 仁 宮 永 喜 一	栗 原 正 仁 宮 永 喜 一	栗 原 正 仁 宮 永 喜 一
複合情報学専攻	/	鈴木 恵 二 古川 正 志	鈴木 恵 二 古川 正 志
コンピュータサイエンス専攻	/	工藤 峰 一 トーマス ツォイクマン	工藤 峰 一 トーマス ツォイクマン
情報エレクトロニクス専攻	/	高橋 庸 夫 本 久 順 一	高橋 庸 夫 本 久 順 一
生命人間情報科学専攻	/	遠藤 俊 徳 平 田 拓	遠藤 俊 徳 平 田 拓
メディアネットワーク専攻	/	長谷山 美 紀 野 島 俊 雄	長谷山 美 紀 野 島 俊 雄
システム情報科学専攻	/	北 裕 幸 金 井 理	北 裕 幸 金 井 理
1年クラス担任代表	/	/	有 村 博 紀
2年クラス担任代表	/	/	鈴木 恵 二
(旧)情報工学科長	/	/	古川 正 志
(旧)電子工学科長	/	/	宮 永 喜 一
(旧)システム工学科長	/	/	金 子 俊 一
事 務 部 長	本 間 敏 史	/	/

## ●常置委員会

## ○委員長

専攻等	将来構想委員会 (職指定)	評価委員会 (任期：2年) (H21.4.1～)	学務委員会 (任期：2年) (H20.4.1～)	学術委員会 (任期：2年) (H20.4.1～)
研究科長	○小柴正則	○小柴正則		
副研究科長	栗原正仁 宮永喜一	栗原正仁 宮永喜一	○宮永喜一	○栗原正仁
複合情報学専攻	鈴木恵二 古川正志	古川正志	鈴木恵二	鈴木恵二
コンピュータサイエンス専攻	工藤峰一 トーマスツォイクマン	田中讓	宮腰政明	有村博紀
情報エレクトロニクス専攻	高橋庸夫 本久順	山本眞史	三島瑛人	福井孝志
生命人間情報科学専攻	遠藤俊徳 平田拓	河原剛一	河原剛一	清水孝一
メディアネットワーク専攻	長谷山美紀 野島俊雄	荒木健治	野島俊雄	長谷山美紀
システム情報科学専攻	北金裕幸 井理	小野里雅彦	小笠原悟司	金子俊一
教育企画室			小笠原悟司	村林俊
研究企画室				金子俊一
広報・情報室				
就職企画室				
安全衛生管理室				
事務部長	本間敏史	本間敏史		
総務課長				向井地博之
教務課長			中村裕	中村裕
事務室長	田中日出雄		田中日出雄	田中日出雄

●室

○室長

専攻等	研究企画室 (任期：2年) (H20.4.1～)	教育企画室 (任期：2年) (H20.4.1～)	広報・情報室 (任期：2年) (H20.4.1～4名) (H21.4.1～2名)	就職企画室 (任期：1年) (H20.10.1～)	FD推進室 (任期：2年) (H20.4.1～)	安全衛生管理室 (任期：2年) (H20.4.1～1名) (H21.4.1～1名)
研究科長						
副研究科長	○栗原正仁	○宮永喜一	○栗原正仁		○栗原正仁 宮永喜一	
複合情報学専攻	川村秀憲	山本雅人	井上純一 (H20.4.1～)	鈴木恵二	川村秀憲	
コンピュータサイエンス専攻	湊真一	今井英幸	吉岡真治 (H20.4.1～)	トーマスツォイクマン	工藤峰一	
情報エレクトロニクス専攻	福井孝志	三島瑛人	浅井哲也 (H21.4.1～)	本久順一	雨宮好仁	植村哲也 (H20.4.1～)
生命人間情報科学専攻	岡嶋孝治	村林俊	小柳香奈子 (H20.4.1～)	平田拓	峯田克彦	峯田克彦 (H21.4.1～)
メディアネットワーク専攻	伊藤敏彦	坂本雄児	齊藤晋聖 (H20.4.1～)	○野島俊雄	小川恭孝	
システム情報科学専攻	金子俊一	小笠原悟司	原亮一 (H21.4.1～)	金井理	小野里雅彦	
事務部長						
教務課長		中村裕				
事務室長	田中日出雄		田中日出雄	田中日出雄	田中日出雄	

●工学部委員会委員情報エレクトロニクス学科

所 属	コース長 (任期：1年)	教務委員会 (任期：1年)	学生委員会 (任期：1年)	入試委員会 (任期：1年)	教育評価委員会 (任期：1年)
副 工 学 部 長	小 柴 正 則				小 柴 正 則
全 学 教 務 委 員 会	宮 永 喜 一	宮 永 喜 一	宮 永 喜 一	宮 永 喜 一	宮 永 喜 一
情 報 工 学 コ ー ス	鈴 木 恵 二	川 村 秀 憲	山 本 雅 人	鈴 木 恵 二	古 川 正 志
コ ン プ ュ ー タ サ イ エ ン ス コ ー ス	工 藤 峰 一	吉 田 哲 也	トーマスツォイクマン	工 藤 峰 一	工 藤 峰 一
電 子 情 報 コ ー ス	高 橋 庸 夫	雨 宮 好 仁	雨 宮 好 仁	高 橋 庸 夫	村 山 明 宏
生 体 情 報 コ ー ス	遠 藤 俊 徳	高 橋 誠	村 林 俊	村 林 俊	渡 邊 日 出 海
メ デ ィ ア ネ ッ ト ワ ー ク コ ー ス	長 谷 山 美 紀	野 島 俊 雄	山 本 学	荒 木 健 治	小 川 恭 孝
シ ス テ ム 情 報 コ ー ス	北 裕 幸	五 十 嵐 一	金 井 理	北 裕 幸	山 下 裕

●工学部入試広報室

情報エレクトロニクス学科 (任期：2年)	菅原 広 剛	齊藤 晋 聖
-------------------------	--------	--------

●工学部 学科長・副学科長

学 科	学科長 (任期：1年)	副学科長 (任期：1年)
情報エレクトロニクス学科	長谷山 美 紀	金 井 理

●工学部将来構想委員会委員

学科長 (任期：1年)	長谷山 美 紀
----------------	---------

●工学研究科(旧)専攻長・副専攻長

旧 専 攻	専攻長 (任期：1年)	副専攻長 (任期：1年)
システム情報工学専攻	鈴 木 恵 二	古 川 正 志
電 子 情 報 工 学 専 攻	長 谷 山 美 紀	本 久 順 一

●工学部(旧)学科長・副学科長

旧 学 科	学科長 (任期：1年)	副学科長 (任期：1年)
情 報 工 学 科 長	古 川 正 志	荒 木 健 治
電 子 工 学 科 長	宮 永 喜 一	福 井 孝 志
シ ス テ ム 工 学 科 長	金 子 俊 一	五 十 嵐 一

## 平成21年度大学院入学者数

平成21年度北海道大学大学院情報科学研究科専攻別入学者数は下表のとおりです。

平成21年度専攻別入学者数

専攻	定員	入学者数
複合情報学	24	29 [2]
	4	7 [2]①
コンピュータサイエンス	24	28 [1]
	8	6 [3]
情報エレクトロニクス	39	43 [1]
	8	5
生命人間情報科学	33	28
	6	2
メディアネットワーク	30	37 [2]
	8	13 [4]④
システム情報科学	27	31
	8	7 [2]①
計	177	196 [6]
	42	40 [11]⑥

- ・ 上段：修士課程、下段：博士後期課程
- ・ [ ]：留学生(内数)
- ・ 丸囲み数字：社会人特別選抜(内数)

## 平成21年度科学研究費補助金採択状況

情報科学研究科からの新規申請96件のうち、4月20日現在28件について採択内定が通知され、継続分39件と合わせて67件が採択の見込みとなりました。教員の転入・転出などに伴う増減を反映させた種目別の採択件数ならびに交付総額など、詳細は次号でお伝えします。

### 【人事異動】

#### 【助教】

(採用)平成21年1月1日	
藤原 正澄	情報エレクトロニクス専攻 (協)量子情報エレクトロニクス講座 新規採用
(採用)平成21年4月1日	
吉澤 真吾	メディアネットワーク専攻 情報通信システム学講座 (北海道大学大学院情報科学研究科 特任助教より)

#### 【客員教授】

(採用)平成21年4月1日	
澤田 宏	メディアネットワーク専攻 (連)ユビキタスネットワーク学講座 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

古澤 賢司	システム情報科学専攻 (連)実システム開発講座 (株)日立製作所生産技術研究所)
-------	--

#### 【特任助教】

(任期満了退職)平成21年3月31日	
吉澤 真吾	グローバルCOE (北海道大学大学院情報科学研究科 助教へ)
(採用)平成21年4月1日	
アグス スバギョ	グローバルCOE (北海道大学大学院情報科学研究科 (JST産学共同シーズイノベーション 事業)特任助教より)

#### 【事務職員】

(定年退職)平成21年3月31日	
長田 俊一	情報科学研究科事務室 室長
大友 伸一	教務担当 係長
(転出)平成21年3月31日	
窪寺 倫子	会計担当 事務職員 (低温科学研究所 会計担当へ)
(昇任)平成21年4月1日	
佐藤 有希	教務担当 係長 (教務担当 主任より)
塚田 倫子	総務担当 主任 (総務担当 事務職員より)
伊藤 郁子	教務担当 主任 (教務課学生支援担当 事務職員より)
(転入)平成21年4月1日	
田中 日出雄	情報科学研究科事務室 室長 (学務部学生支援課 課長補佐より)
(採用)平成21年4月1日	
朝野 麻衣	会計担当 事務職員(新規採用)

#### 【グローバルCOE事務局】

(任期満了退職)平成21年3月31日	
佐久間 野百合	事務補助員
(採用)平成21年4月1日	
米本 亜也巳	事務補佐員

#### 【受賞】

2008年11月20日	村尾 覚志
メディアネットワーク専攻 博士後期課程1年(当時)	
電気・情報関係学会北海道支部連合大会実行委員会 平成20年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会若 手優秀論文発表賞 「曲がりソリッドコアフォトニックバ ンドギャップファイバのクラッドモード特性評価」	
2008年11月24日	Michal Ptaszynski
メディアネットワーク専攻 博士後期課程2年(当時)	
日本感性工学会 BEST STUDENT PAPER AWARD, “Disentangling emotions from the Web. Internet in the service of affect analysis”	

2008年12月19日	二ツ森 俊一 <sup>1)</sup> 、日景 隆 <sup>2)</sup> 、野島俊雄 <sup>3)</sup>
1)メディアネットワーク専攻 博士後期課程3年(当時)、2) 同専攻 助教、3) 同専攻 教授	
ASIA PACIFIC MICROWAVE CONFERENCE (APMC2008会議), APMC PRIZE, "An Experimental Validation of a Detailed Numerical Model for Predicting Implantable Medical Devices EMI due to Low-band RFID Reader/writers"	
2009年1月26日	二ツ森 俊一
メディアネットワーク専攻 博士後期課程3年(当時)	
IEEE Sapporo Section, The 2008 IEEE Sapporo Section Encouragement Award, "HTS Reaction-Type Transmitting Filter Based Upon Split Open-Ring Resonators with Surface Current Density Reduction Technique"	
2009年1月26日	飯澤 謙人
メディアネットワーク専攻 修士課程2年(当時)	
IEEE Sapporo Section, 2008 Student Member Best Presentation Award 「ツリウム添加低屈折率コアフォトニック結晶ファイバの増幅特性」	
2009年1月26日	小松 正明
メディアネットワーク専攻 修士課程1年(当時)	
IEEE Sapporo Section, 2008 Student Member Best Presentation Award 「スロット導波路に基づく超小型偏波スプリッタ」	
2009年3月6日	林 邦好
複合情報学専攻 博士後期課程1年(当時)	
日本統計学会春季集会2009 ポスターセッション 最優秀ポスター発表賞 「線形部分空間法における感度分析の構築とその応用」	
2009年3月9日	澤田 圭佑
情報エレクトロニクス専攻 修士課程2年(当時)	
応用物理学会 応用物理学会北海道支部学術講演会発表奨励賞 「Co <sub>2</sub> MnSi 細線電極における磁壁構造に依存したトンネル磁気抵抗のシミュレーション」	
2009年3月10日	小坂 宏四郎
生命人間情報科学専攻 修士課程2年(当時)	
情報処理学会 学生奨励賞 「機械学習に基づく嗅覚受容体のリガンド予測」	
2009年3月10日	溝口 知広
システム情報科学専攻 博士後期課程3年(当時)	
日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会2008 第87期生産システム部門 優秀講演論文表彰 「高密度X線CT計測モデルからのユークリッド対称性認識」	
2009年3月12日	遠藤 維
システム情報科学専攻 博士後期課程3年(当時)	
2008年度 精密工学会 研究奨励賞 「デジタルハンドとプロダクトモデルとの統合によるエルゴノミック評価システムの開発(第1報)」	

2009年3月23日	日誌 洋平
情報エレクトロニクス専攻 修士課程2年(当時)	
社団法人 電気学会 電気学会優秀論文発表賞 (B賞) 「CH <sub>4</sub> /H <sub>2</sub> プラズマ中のC <sub>x</sub> H <sub>y</sub> 蓄積によるイオン・ラジカル生成量の変化」	

## 新教員紹介

1. 最終学歴および学位、2. 前職、3. 専門分野

藤原 正澄 助教

情報エレクトロニクス専攻



(協)量子情報エレクトロニクス講座

1. 平成20年大阪市立大学大学院理学研究科数物系専攻博士後期課程修了、博士(理学)
2. 新規採用
3. 非線形光学を用いた光合成研究

吉澤 真吾 助教

メディアネットワーク専攻



情報通信システム学講座

1. 平成17年北海道大学大学院工学研究科電子情報工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)
2. 北海道大学大学院情報科学研究科特任助教
3. 無線通信、音声信号処理、VLSI

## 訃 報

情報科学研究科生命人間情報科学専攻教授

山本 克之(やまもと かつゆき)氏 (享年 63歳)



本研究科教授 山本克之氏は、平成21年3月14日膀胱癌のため63歳でご逝去されました。ここに、生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

記事の詳細及びこちらで紹介されていない記事については、情報科学研究科ホームページ、工学部広報ホームページをご参照ください。

○情報科学研究科ホームページ

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/news/>

○大学院工学研究科・情報科学研究科・工学部広報ホームページ

<http://www.eng.hokudai.ac.jp/news/publication/news/>

**IST NEWS No.17** 平成21年5月20日発行

発行:北海道大学大学院情報科学研究科 広報・情報室

(編集担当:吉岡真治・佐藤健二・小山内詔子)



情報科学研究科ホームページ

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/>